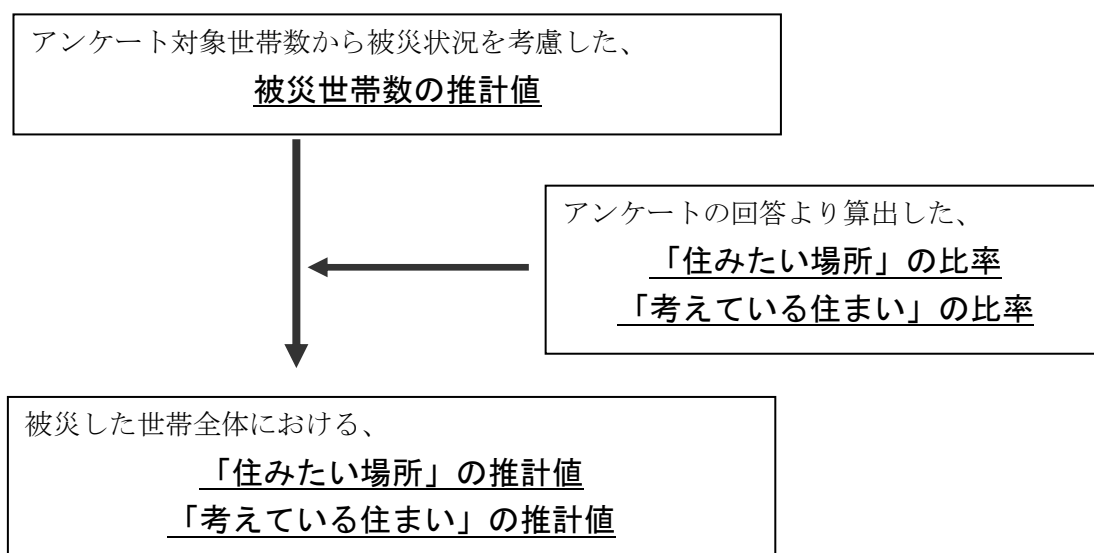


アンケート調査による復興パターン検討のフレーム検討

7月に実施した、「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」の集計結果から、今回の震災で被害を受けた世帯数を推計し、地区ごとの住みたい場所、考えている住まいについて、以下のように推計します。

■推計方法

- ・被害状況から、地区ごとに被災世帯数を推計する。
- ・アンケート結果より、被災した世帯の今後の住まいに関する意向の傾向を把握する。
- ・被災世帯数に配分し、住みたい場所、住まいを推計する。



■推計結果（※四捨五入の関係で、各項目の合計値と総数が合致しない場合があります。）

●住みたい場所

	全体	磯鷄地区	
	世帯数	世帯数	割合
推定被災世帯	5,541	578	100.0%
①同じ場所	2,247	299	51.7%
②近くの高台	1,666	176	30.5%
③市内の津波被害の無い場所	1,409	83	14.4%
④市外	219	19	3.3%

●考えている住まい

	全体	磯鷄地区	
	世帯数	世帯数	割合
推定被災世帯	5,541	578	100.0%
補修	2,253	320	55.4%
新築	2,540	154	26.7%
民間賃貸住宅	238	51	8.8%
公営住宅	509	53	9.1%